

ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等一覧（県民部会）

所 属	役 職	氏 名	平成30年度の3Rに向けた活動状況	平成31年度の3Rに向けた活動目標
山形県連合小学校長会	理 事	岡村 廣	県内各校におけるエコ活動の推進（以下のとおり） 1 資源回収等リサイクル運動 2 保護者・児童への啓発活動 3 給食の食べ切り、残飯を少なくする運動 4 飲食を伴う会合等における3010運動の推奨	○ 同左を中心に取り組む
山形県中学校長会	会 員	有路智子	県内各校におけるエコ活動の推進（以下のとおり） 1 印刷物のリサイクル 2 コピー枚数の制限 3 会議資料のペーパーレス化 4 資源回収等リサイクル活動（牛乳パック、エコキャップ、アルミ缶等の回収） 5 給食の残飯、残菜を減らす運動 6 故紙でのゴミ箱づくりと活用 7 飲食を伴う会合での3010運動の推奨	○ 各中学校におけるエコ活動を推進する
山形県消費生活団体連絡協議会	会 長	石塚久子	以下のような3R活動を各単会において実施 1 買い物袋持参運動 2 廃油の利用（石けん作り、キャンドル作り） 3 生ゴミのたい肥化、ボカシ等 4 ペットボトルキャップ回収（ワクチンに変える） 5 古布の利用（ストラップ作り、マイ箸入作り、エコタワシ） 6 バザーの開催 7 食品ロスの削減（食べ切り運動） 8 牛乳パック利用（正座いす作り）	○ 前年同様、3R活動を継続して実施する

所 属	役 職	氏 名	平成30年度の3Rに向けた活動状況	平成31年度の3Rに向けた活動目標
公募		伊藤 智英	<ol style="list-style-type: none"> 1 フードドライブを実施し、ご家庭で余っている食品・生活用品を寄付してもらう。(参考：平成30年4月～平成31年1月までの寄付総量 7,661kg) 2 ポスターを制作し、広くフードドライブを呼び掛ける。 3 講演会で食品ロスについて呼びかける。 4 山形県JA女性組織協議会様と共にフードドライブ実施。(2018年は2回で2,181kg) 5 マックスバリュ東北様に設置させていただいているフードドライブボックスの設置場所を増やし、余った食品等を寄付しやすくした。(2017年度 3店舗⇒ 8店舗を増やした。) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 フードバンクの認知度を上げ、ご家庭で余っている食品はフードドライブ活用しおすそ分けをすることにより、ごみにならないよう呼びかける。 2 職場・団体のフードドライブを実施していただけるように働きかける。 3 必要とする方と必要ない方のマッチングを推進する。例えば、介護用おむつ。必要な方と必要でなくなり処分したい方とのマッチングを推進し有効活用できればお互いにWINWINになり、なおかつごみも減らせる。
山形県保育協議会	副会長	岡崎 恵子	<ol style="list-style-type: none"> 1 県内役員に取組みを説明し、保育所における「ごみ削減」に対する認識を深めるとともに、各保育所にて検討し取組みを行うよう提言した。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 30年に引き続き、会員への周知推進に努める。 2 ごみ削減等のアイデアを募り、広報誌等にて提案周知する。 3 各保育所において、保護者にごみ削減について発信推進を図る。
NPO法人環境ネットやまがた	主任	河合 麻衣	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境省環境マネジメントシステム「エコアクション21」の活動の一環として以下の取組みを継続的に行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・紙ゴミを毎月計測し、古紙回収に出す。 ・コピー枚数の削減 2 当法人通常総会後に行われる懇親会で3010運動を呼びかけた。 3 廃油、廃ろうそくを使用した、キャンドル作り教室、イベントを開催した。 4 近くの河川の清掃活動を行った。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境省環境マネジメントシステム「エコアクション21」の活動の中で以下の取組みを継続的に行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・紙ゴミを毎月計測し、古紙回収に出す。 ・コピー枚数の削減 2 宴会における食品ロス活動を行う。3010運動を周知する。 3 廃油、廃ろうそくを使用したキャンドル作り教室、イベント開催 4 河川の清掃活動

所 属	役 職	氏 名	平成30年度の3 Rに向けた活動状況	平成31年度の3 Rに向けた活動目標
山形県PTA連合会	母親 委員長	高見佳澄	1 山形県PTA連合会の各地区代表母親委員長(12名)へ、パンフレット「ごみゼロやまがた推進BOOK」を配付し、山形県の事業について周知した。 2 山形県PTA連合会の母親委員会研修時、山形市内各校からの参加者約200名にパンフレットを配付した。	○ パンフレット等による、ごみゼロ推進についての呼びかけ
山形県保健環境活動団体連合会	会 長	西田忠一	※ 各市町村衛生組織活動例 1 生ごみ処理機購入補助 2 不法投棄防止活動 3 リユース食器利用推進事業 4 木材リユース事業 5 空缶散乱防止運動 6 EMボカシづくり講習会 7 粗大ゴミ回収斡旋事業 8 小型家電リサイクル事業 9 環境ポスターコンクール実施 10 廃タイヤ回収事業 11 資源回収奨励金交付事業 12 ごみステーション・リサイクルステーションの新設・修繕	○ 環境保全の面から「ごみゼロやまがた」実現に向け、3 Rの考え方に基づく諸実践活動を推進するとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に向けた浄化槽の普及推進や適正な維持管理、水環境の保全活動、不法投棄防止活動並びに漂流・漂着ごみ対策等循環型社会の構築に向けた運動を引き続き展開する。
NPO法人 みらい子育てネット山形	副理事長	細谷由紀	1 総会時、50名の参加者にリーフレットを用いて、生ゴミの水切りや3 Rの推進、食品ロス削減に対する呼びかけを行った。また、この際、エコ調理の話とエコ工作の実習を行った。 2 会報にコーナーを設け、ごみゼロについての広報を行った。 3 ボランティア等でエコ工作を行い、3 Rについて親子で理解を深めてもらえるようにした。	○ 31年度も前年度と同様の活動をしていきたいと考えている。 ○ ドイツ交流員とのエコでの国際交流(予定)

所 属	役 職	氏 名	平成30年度の3 Rに向けた活動状況	平成31年度の3 Rに向けた活動目標
山形市	環境部長	松田和巳	<ol style="list-style-type: none"> 1 資源回収推進事業によりごみ減量と再資源化を図った。 2 生ごみ処理機購入に対する補助を実施し、生ごみの減量化及び堆肥化を促進した。 3 「生ごみやさいクル事業」により、乾燥式生ごみ処理機で乾燥し資源（肥料）化した生成物の循環利用とごみの減量を推進した。 4 雑がみ回収広報袋を作成・配布したほか、事業者、市民団体と連携した「雑がみリサイクルキャンペーン」の実施、資源物引取事業所の周知により、紙類布類の再資源化を推進した。 5 事業所から排出される古紙類再資源化の取組みについて周知広報を行った。 6 事業者、市民団体と連携して「食品トレー等リサイクルキャンペーン」を実施し、店頭回収の利用を呼びかけた。 7 小型家電リサイクル事業により、使用済小型家電の回収、再資源化を行った。 8 レジ袋削減のためマイバッグ持参を推進し、成果を確認するため、スーパー等の協力を得てマイバッグ持参率調査を実施し、啓発のためその成果を広報した。 9 ごみ減量方法出前講座でごみ減量と再資源化の周知を行った。 10 市民、事業者、行政が共に考え、相互に協力して、ごみ減量と再資源化を推進している市民団体「ごみ減量・もったいないねット山形」の活動支援を行った。 11 同市民団体と連携し、宴会等での食べ残し削減のため「30・10運動～宴会編～」を推進した。 12 同市民団体と連携し、家庭における食品ロス削減のため、冷蔵庫の中を定期的（毎月10日と30日）に整理する「30・10運動～家庭編～」を推進した。 13 30・10運動（宴会編・家庭編）の実践について広報を行った。 	<p>○ 平成30年度と同様の活動を継続</p>

所 属	役 職	氏 名	平成29年度の3 Rに向けた活動状況	平成30年度の3 Rに向けた活動目標
公募		横 尾 知 子	<p>《個人として》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 家庭生ゴミは、生ゴミ処理機を利用し家庭菜園の肥料で活用している。 2 婦人会役員研修会で「ゴミ減量とリサイクル」「食品ロス削減について」の研修を受けた。(講師：天童市生活環境美化衛生係指導員・技能士) 3 買い物はエコバッグを持参し、食品トレイは店頭回収ボックスへ、牛乳パック、ペットボトル、アルミ缶、雑紙、段ボールはリサイクルステーションに出している。 <p>《事業所として》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 車の修理に部品交換が必要な場合、リサイクル部品を推奨している。 2 保険業務はペーパーレスを心がけ、電子化を図り紙ゴミ削減に取り組んでいる。 3 自社の車も電気自動車に替え、CO2排出量削減に努めている。 	<p>《個人として》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 31年度も継続していく。 2 3 R (特にリデュース=ごみになるものを減らす)を実施していく。 3 31年度も継続していく。 <p>《事業所として》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 来客用テーブルなどにリーフレットを置き促していく。 2 対象件数をもっと増やしていく。 3 31年度も継続していく。